

感染症発生状況

令和元年 9月 27日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和元年 9月 17日（火）～ 9月 20日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,635名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 308名 【職員】 1名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】 77名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数84名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】 症状：熱（139名）、咳・鼻水（39名）、下痢・腹痛（22名）、嘔気・嘔吐（2名）

疾病別：気管支炎・肺炎（35名）、手足口病（7名）、溶連菌感染症（5名）、ヘルパンギーナ（4名）

【職員】 症状：熱（1名）

ヒトメタニューモウイルス感染症、RSウイルス感染症、溶連菌感染症、ヘルパンギーナ、手足口病と数的には少ないが多彩な流行があります。インフルエンザワクチン接種が始まります。

【症状別の発生状況】

気管支炎・肺炎 厨川、都南地域で減少。玉山、河北地域で増加しました。

手足口病 玉山、河北、盛南、都南地域で減少。厨川地域で増加しました。

溶連菌感染症 厨川、河北、盛南、河南地域で減少。玉山地域で増加しました。

ヘルパンギーナ 河北地域で減少しました。

【県の状況（9/9～9/15）】

RSウイルス感染症は、盛岡市、宮古、釜石地区で報告が多くなっています。症状は風邪様症状から重い肺炎まで様々ですが、初感染の乳幼児と高齢者は重症化しやすい傾向にあります。例年、年末まで流行が続くので注意が必要です。感染経路は飛沫及び接触感染で、咳エチケットと手洗いの励行が重要です。

手足口病は、県内3地区で警報値（定点当たり患者数5人）を超えました。原因となるウイルスは複数あるので、数回かかることがあります。予防には、患者との濃厚接触やタオルの共用を避け、手洗いを励行することが重要です。

インフルエンザは、例年より1か月ほど早く、奥州地区で学校等休業措置が2件報告されました。また、釜石地区でも報告が増えています。早期に流行入りすることが考えられるため、症状がある場合は、マスク着用等の咳エチケットに配慮のうえ、早めの受診を。手洗いの励行など、他の感染症と同様の予防対策に積極的に取り組むことが勧められます。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】